



# 隊友さつま

◆発行 鹿児島県隊友会  
◆発行責任者 兒玉 健二郎  
◆印刷 (株)川内新生社印刷  
薩摩川内市上川内町  
TEL 0996-22-2101

## 新年のご挨拶 県隊友会長

兒玉 健二郎

新年明けましておめでとうございます。  
鹿児島県隊友会員の皆様、そしてご家族の皆様方におかれましては、ご健勝にて新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、県本部と密接に連携し、積極的に活動していただき、ありがとうございます。

お隣様をもちまして、鹿児島県隊友会としての活動を順調に進めることができました。これまでの皆様方の絶大なるご協力・ご支援に対し、厚く御礼申し上げます。

さて、ロシアによるウクライナ侵攻の行方も見通せない中、中東地域におけるパレスチナ情勢も

益々混乱の度を深めつつあります。

一方、我が国を取り巻く極東地域における安全保障環境も、覇権主義を一層露にしつつある中国

そしてロシアとの軍事協力を図りつつ、ミサイル発射等を繰り返す北朝鮮等、台湾情勢も含め、日増しに緊迫の度合いを高

めつつあります。

こうした中、政府は、これまでの受動的防衛態勢を抜本的に見直し、安保関連3文書の改定を急

ぐとともに、陸・海・空各自衛隊の統合運用態勢の確立、敵基地攻撃能力を含む防衛力整備、人的基盤の更なる充実、宇宙・サイバー対応能力の強

に考える必要があるのだと思います。

それがため、自衛隊0B組織としての隊友会の会勢拡大に努め、一般市民の皆様に対する防衛意識の普及・啓蒙とともに、各地域の特性を生かした支部毎の魅力ある活道の推進が何よりも重要だと考えております。

今後とも、県内の防衛協力諸団体と密接な連携を図りつつ「国民と自衛隊の架け橋」として、積極・主導的に活動していきたいと考えております。

ご協力を宜しくお願い申し上げます。

本年が隊友会会員とご家族の皆様、そして関係各位にとりまして素晴らしい一年となりますよう心からお祈りし、皆様方のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます。

「現職自衛官のこうした活動を積極的に支援・協力するためにはどうしたらいいか」を今こそ真剣

## 新年のご挨拶 鹿児島県防衛協会会長

鹿児島県知事  
塩田 康一

明けましておめでとうございます。

健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

鹿児島県隊友会におかれましては、元自衛官や予備自衛官として、その



能力と経験を發揮されながら、県民と自衛隊の架け橋として、防衛意識の普及・啓発や自衛隊活動に対する協力、防災訓練への参加など、様々な活動を積極的に展開されていることに、深く敬意を表します。

また、平成25年3月の「大規模災害時における隊友会の協力に関する協定」の締結以降、同協定に基づき自然災害の応急対策等にご尽力いた

き厚く御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境は厳しい状況が続いている中、自衛隊の皆様におかれましては、我が国の防衛はもとより、頻発・激甚化する自然災害等から国民の生命と財産を守る災害派遣活動など、広範・多岐にわたる任務に迅速かつ的確に取り組んでいただいております。

本県におきましても、昨年1月の硫黄島山林火における空中消火活動や8月の大雨で断水した霧島市及び始良市での給水支援など、本県の災害対応にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

結ばに、鹿児島県隊友会の今後益々のご発展と、会員の皆様のご多幸・ご健勝を心からお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

## 新年のご挨拶 薩摩川内市防衛協会会長

薩摩川内市長  
田中 良二

新年あけましておめでとうございます。

鹿児島県隊友会の会員の皆様におかれましては、令和8年の新春を健やかに迎えられることと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、地域の安



全・安心の確保、そして防衛意識の高揚にご尽力いただいておりますこと、深く敬意を表し、厚く御礼申し上げます。

年々、国際情勢も一段と厳しくなる中、昨年は鹿児島県を含む九州各地で豪雨による浸水や土砂災害が発生しました。その際、自衛隊の皆様には迅速かつ的確な対応で復旧活動を支えていただき、地域に安心をもたらして下さいました。こうした

## 新年のご挨拶 川内駐屯地司令兼ねて 第8施設大隊長

一等陸佐 弘山 正直

新年あけましておめでとうございます。

鹿児島県隊友会の皆様におかれましては、令和8年の新年を健やかに迎えのこ

ととお慶び申し上げます。

また、平素より陸上自衛隊川内駐屯地の活動に対する多大なるご支援とご協力を賜り、部隊及び駐屯地を代表して心より感謝申し上げます。

現在、我が国を取り巻く安全保障環境は日々厳しさを増し、国際情勢が



混乱を極める中、我が国周辺において、国際秩序の根底を揺るがすような事態が発生する可能性は残念ながら否定できない状況にあります。

また、県内に目を向ければ、地震や度重なる水害等、自然災害が多発しており、予断を許さない状況となっております。

このような情勢ではあります。我々は、いつ何が起きようとも事態に即応して責務を果たし、我が国の平和と安定を断固として守り抜くため、日々鍛錬を重ねていくと

ころです。このような活動を続けていくことが、有事の発生を未然に防ぐ「抑止力」に繋がるものと確信しております。

さて、川内駐屯地は昨年、創立40周年という節目を迎え、12月には「信頼」をテーマに創立記念行事を開催いたしました。多くの皆様にご来場いただき、改めて感謝申し上げます。

同時に、地域と共に歩んできた40年の歴史に思いを馳せ、改めて地域を愛し、地域に愛され、信頼される部隊・駐屯地であり続けることへの決意を新たにしたいと考えており、地域の安心と安全を確保するため、本年も変わらず精進して参る所存です。

今後とも会員の皆様からの叱咤激励をいただければ幸いです。

結びに、本年も皆様にとつて幸多く素晴らしい年になることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

活動は、隊友会の皆様の長年の経験と地域への理解があつてこそ成り立つものであり、改めてそのご貢献に心より感謝申し上げます。

また、本市には陸上自衛隊川内駐屯地と航空自衛隊頼島分屯基地という2つの自衛隊施設があり、昨年はそれぞれ創立40周年、70周年という節目を迎えることができました。

これまでも長年にわたる災害対応や地域行事への支援など、地域に根ざした活動を続けてこられたことに改めて敬意を表します。

特に、市の3大行事である川内川花火大会、川内大綱引き、薩摩川内は

## 回帰線

◎ 後継者不足を憂う

各種親睦団体や校区また集落の役員選考等で、なり手がみつからず苦勞されている現状が多いことを耳にしています。

▼私の住んでいる喜入町も同じ状況です。▼何故役員になりたくないの

だろうか？わたしが経験した断りの内容です①能力がない②持病がある③パソコンが苦手などがありました

▼団体の長などは、ある程度の知識や決定事項に対する責任感などが発生します

▼自信をもつて業務を遂行することが不安だったり、経験不足の場合には役員になりたくないのが普通だと思

います▼しかし、考えて見れば誰もが初めての役職は不安なのです▼私も20

代前半に一整備員から糧食班長や訓練係の役職に就き最初は不安でしたが、必ず

助けてくれる先輩がいまし

た▼各団体や校区内も自衛隊のように必ず助けしてく

る方がいるのです▼何が役員就任を拒むのかは、私の個人的考えとして「意欲や

勇気」がないからだと考えています▼特にOBの方は

勇気にあふれたハートの強い勇気を持つた方が多く存在していると思います▼我々OBは公に尽くす精神を教育されてきました▼是非進んで役職を引き受ける意欲と勇気を出していただければと思います▼自分の生まれ育った地域、縁あつて住み着いた地域、お世話になつたり興味を持った団体など皆さんの能力を必要として

います▼声が掛かったら是非一歩踏み出して下さい▼見返りはありませんが得るものはたくさんあるような気がします

前さつま編集長 春田博明記



隊友会グラウンド  
ゴルフ大会開催  
国分支部事務局長  
古園 敏郎氏

令和7年11月23日  
霧島市国分海浜公園において、第22回鹿児島県隊友会グラウンドゴルフ大会を実施しました。  
今大会は国分支部が担当し、県内各支部から、



プレーを楽しむ会員

115名(23チーム)の会員・家族がプレイヤードとして参加しました。穏やかな天候に恵まれたこともあり、参加された会員は、成績を競う大会であり、和気あいあいな中にもプレー中は真剣そのもの。ただあくまで、大会の目的は成績だけを追求するものではなく健康増進と支部間の親睦交流を図るものであり成績に一喜一憂することと思うが、終了し一呼吸置いた後は清々しい気持ちになったのでは。成績は、団体の部において、隼人支部が優勝(194点)、個人の部は国分支部Eチームの西文子さん(家族会員)が優勝という結果でした。なお90歳以上を対象

会員投稿

日本蜜蜂の天敵  
出水支部事務局長  
馬見新 了一氏

日本蜜蜂(以下蜜蜂という。)の飼育を始めて15年になります。飼育のきっかけは、みかん山に丸く集まった蜂球を発見してからです。当初は

とした「高齢者賞」は3名の方が受賞されました。大会を通して交流を図ることが長生きの秘訣とのことでした。  
大会は、終始、予定どおり進行し、参加した方々の健康面も問題なく、成功裏に終了することができました。関係した皆様に感謝申し上げます。



愛犬と蜂蜜箱と馬見会員

全く蜜蜂の飼育について知識がなく、インターネットからの情報を頼りに始めたのですが、長期に接していると生態、飼育方法、蜜の採取について講釈できるまでになりました。そこで飼育下における蜜蜂の天敵について書きたいと思っています。  
蜜蜂は甘い蜜をタツツリ集めて運び、蜜蜂自身がタンパク質豊富で栄養の3要素を十分に満たすために蜜蜂を餌とする生物が多いです。飛翔時の

ツバメ、スズメ、ヒヨドリ、クモ(蜘蛛の巣)、巣箱、入巢時のスズメバチ、カマキリ、ヤモリなどに接していると生態、飼育方法、蜜の採取について講釈できるまでになりました。そこで飼育下における蜜蜂の天敵について書きたいと思っています。  
蜜蜂は甘い蜜をタツツリ集めて運び、蜜蜂自身がタンパク質豊富で栄養の3要素を十分に満たすために蜜蜂を餌とする生物が多いです。飛翔時の

ただしキイロスズメバチは知恵者で捕獲を察知したら逃げるのが早くこの方法は期待できません。また、蜜蜂にとって静かなる敵が蛾の幼虫です。夜間に飛来し巣箱周辺に産卵して去り、蜜蜂の入巢時に卵を持ち込ませ、巣内の恒温と栄養を利用して孵化から成虫への生育を依存します。幼虫時に巣内を侵食し、逃去の大半の要因になります。  
このような敵多い中を掻い潜って貯蜜し、分封時に、タツツリと貯めた蜜を腹に、働き蜂と女王蜂は巣を移駐します。これを見計らって分封終わりの1か月後を目途に飼いが最大の天敵とならないように蜜を頂きます。

家族会員投稿

私の家族  
国分支部家族会員  
東中尾恵美子氏



勢ぞろいした東中尾さんご家族

自衛官の妻となつて約40年がたちます。この間、3人の子供に恵まれました。夫は30代の頃仕事が大変だったのか辞めたいと弱音を吐いていました。夫の転勤で子どもたちに負担をかけ、長女の不登校や次女は学年ごと中学校を変わりました。夫は何を思ったか自衛官を辞めてからは毎週のように行っていたマイボートでの釣りに行かず、自衛隊や隊友会の行事、「お助け隊」の仕事等に励んでいます。長女は自衛官として6

ましたが、人並みに定年退職し、更に9年間再任用自衛官として勤務しました。家族のために頑張ってくれたと感謝しています。  
子供たちは、夫が少年剣道を指導していたこともあり、小学校から高校まで剣道を続け、礼儀と体力が身についたと思っています。夫の転勤で子どもたちに負担をかけ、長女の不登校や次女は学年ごと中学校を変わりました。夫は何を思ったか自衛官を辞めてからは毎週のように行っていたマイボートでの釣りに行かず、自衛隊や隊友会の行事、「お助け隊」の仕事等に励んでいます。長女は自衛官として6

会員投稿

薩摩藩による  
宝暦治水  
県隊友会監事役  
肥後 秀一氏

鹿児島県の始良市・霧島市は今年(令和7年)

8月7日から9日に大雨災害に見舞われ、加治木・隼人など広範囲にわたって、浸水被害が発生して、JR肥薩線の吉松〜隼人間は復旧が長引き、復旧目標は来年の6月末になつていところですが、復旧には困難な土木工事が必要と思われすが、困難な土木工事と言えば鹿児島では薩摩藩が実施



平田靱負像を前に肥後氏

した宝暦治水があげられます。これに関しては、わたしもコロナ禍前に、鹿児島市平田公園で毎年(コロナの年を除く。)実施されていた宝暦治水薩摩義士顕徳慰霊祭に参加したことがあります。  
宝暦治水は、江戸時代中期、薩摩藩が琉球貿易などで財力を蓄えているのではないかと徳川幕府から見られていたこともあり、1753年(宝暦3年)、当時の薩摩藩主島津重年に美濃国(今の岐阜県)を流れる木曾川揖斐川、長良川(木曾三川)の治水工事をする普請が幕府から命じられました。  
薩摩藩は、翌年、家老の平田靱負(ひらたゆきえ)を総奉行に命じました。平田は総勢1,000人の薩摩藩士を率いて美濃に赴き堤防の築造に着手しました。工事は苦難の連続でしたが、大阪

の商人から借金により工費を賄い、地元の土木職人の雇用を幕府に認めさせてから次第に工事が軌道乗り始め2年後の1755年(宝暦5年)木曾三川の分離などの工事を終了させることができました。しかし、この間、切腹や病死あわせて84名の犠牲者を出したこと、藩に多大の財政的負担を強いしたこと、責任を取り平田自身も一住み馴れし里もいまさら名残りにてたちぞわずらう美濃の大牧(おおまき※自刃した所が美濃国大牧村)の句を残して自刃しました。  
後世、美濃の人々は平田をはじめとする工事に携わった武士たちを「薩摩義士」と称え、千本松原(岐阜県海津市)の一角に治水神社を立てて藩士を祀り、今に至るまで大切にしています。

令和7年度  
安全保障  
フォーラムの開催  
県隊友会副会長  
川原 学氏



講演中の西成人氏

10月18日(月)に令和7年度安全保障フォーラム(主催県隊友会、県家族会、県郷友会)を元佐世保総監西成人氏を講師にお迎えし「令和7年度政策提言」を演題に鹿児島市勤労者交流センターで実施しました。本年度から県水交会と県偕会も後援に加わり充実した体制になりました。  
国会議員、県議会議員、県内自衛隊の部隊長、防衛関係諸団体の長等を来賓に迎え、約200名が参加しました。  
演題の「政策提言」は隊友会等4団体が政府関係者に対し、現役部隊を支える観点から行っているもので、防衛関係諸団体にとって重要なものです。本年は現実的かつ主体的な防衛力構築を提言し、益々混迷を深める国祭情勢の中、令和7年度は、憲法の改正、防衛力の強化、安全保障に関する国民全体の意識の高揚と日米同盟の更なる強化等について更に一歩踏み込んだ提言がなされるといふことであり、我が国の安全保障環境の改善方策を探るうえで貴重な勉強の機会になりました。最後に村山郷友会会長から講師に対して謝意が述べられ、成功裡のうちに終了しました。

令和7年度  
桜島火山爆発総合  
防災訓練に参加  
鹿児島地区協議会  
事務局長  
後藤 光一氏

11月15日(土)桜島で実施された桜島総合防災訓練(鹿児島市主催)の住民避難訓練を支援しました。  
雲一つない秋晴れの下現地災害対策本部(桜島支所)における状況付与や陸上自衛隊高遊原分屯地から飛来するCH47ヘリのヘリポート(桜島広場)における離着陸時の安全確保など5名の会員が参加しました。  
訓練間、ボランティアとして訓練参加中の鹿児島大学の学生と交流を深めたり、炊事訓練参加中の隊員を激励するなど充実した訓練になりました。隊員の作ったカレーも美味しく食しました。



勝吉危機管理専門官(左端)

本訓練は会員の勝吉鹿児島市危機管理専門官が見事に統制しました。  
11月14日(土)の新開に小郡駐屯地所属の94式水際地雷敷設車が、故障のため甲突川ほとりに待機しているとの記事があると県隊友会松田副会長から一報を受けて、早速、石崎鹿児島地区協

水際地雷敷設車を  
警戒中の隊員を  
激励  
鹿児島地区協議会  
事務局長  
後藤 光一氏



石崎会長(左)と後藤氏(右)

議会会長に報告し、その日に会長と後藤の2名で激励に行ってきました。対応してくれた川辺1曹によると自衛隊統合演習参加後の帰路にトラブルに見舞われたもので、現在は3日交代で勤務しており、修復次第帰隊するとのことでした。  
敷設車の大きさに圧倒されつつ説明を受けたのち、持つてきたみかんなどの慰問品を差し入れるとともに不便なことがあつたら連絡するように言つて現場を後にしました。

謹んで  
ご冥福を  
お祈りします

- 故白井 森芳様
  - 故若松 保様
  - 故川添 義治様
  - 故池畑 啓一様
  - 故上村 禮文様
  - 故久保園 三男様
  - 故飯野 忍様
  - 故村山 浩様
  - 故森川 洋一様
  - 故濱田 彬宏様
  - 故福山 拓生様
  - 故小田 榮一様
- (御逝去の順)





グラウンドゴルフを楽しむ会員

鹿児島地区協議会  
中央支部の紹介  
鬼塚 俊伸氏

鹿児島中央支部を紹介  
します。会員は、55名  
5個分会からなりますが  
3個分会は分会長が不在  
です。会員構成は、60  
歳台が最多で80歳以上  
も会員の3割を占めます  
但し、30歳代40歳代  
も7名おり今後の会の担



徳之島支部 中島会員

自衛隊の想い出  
徳之島支部  
中島 敏光氏

昭和47年自衛隊に生  
生18期生として入隊し  
ました。内務班では規律  
が厳しく大変な思いをし  
ました。上級生となり伝  
統を守ろうとしたことが  
懲戒処分を受けることに  
なり、大変悔しい思いを  
するとともに時代の流れ  
を実感しました。

姿に感動を覚えたもの  
の反面、個性が強くよく怒  
られました。それでも辞  
めずに頑張ったのは休  
みにみんなで街に繰り出し  
ストレスを発散したから  
だと思います。先輩は面  
面見もよく、自然と居た  
くなる状況も作ってくれ  
ました。浜松に新しい移  
動部隊ができ、転勤する  
ことになりました。

移動部隊は、大型トラ  
ック9台とランクルの小  
さな部隊で、この部隊で  
北海道から沖永良部島ま  
で全国の部隊で勤務しま  
した。沖永良部島へは2  
泊3日の船旅で天候悪化  
で船酔いする者が続出し  
大変な思いをしました。  
全国の部隊で勤務し土地  
の名物を肴に、美味しい  
酒を仲間同士で飲むこと  
が夜の楽しみでした。  
その後、3尉候補者の  
試験に合格し、隊長の強  
い勧めもあり、幹部に任

官し、航空部隊に配置さ  
れました。毎日が苦労の  
連続でしたが、パイロッ  
トの養成部隊、輸送機部  
隊そしてヘリコプター空  
輸隊で勤務し、平成21  
年で定年を迎え、平成2  
4年に徳之島に戻り、現  
在はサトウキビとタンカ  
ンの栽培を細々としてい  
ます。

会員投稿  
喜入日本遺産の  
お助け隊  
喜入支部  
春田 博明氏

喜入日本遺産に関する  
喜入支部3名のお助け隊  
員を紹介します。  
令和元年5月に喜入旧  
麓地区が日本遺産に指定  
されました。喜入の旧麓  
は1595年から肝付家  
4代まで約60年ほど仮  
屋があり、政治の中心で  
した。その後、現在の喜  
入小学校に仮屋を移し、

隼人支部  
の紹介  
隼人支部長  
徳田 純氏

参加を期待しているところ  
です。夏場から始まつ  
た隊友サロンもあります  
ので、支部の皆さん気軽  
に参加されてみては如何  
でしょうか。

昨年6月の隼人支部長  
に上番した徳田です。今  
後とも宜しくお願いいた  
します。

最後に、会の維持運営  
上会員が年間のいづれか  
少なくとも1回を目標に



クリーンアップ作戦に参加の会員



スイートコーンを売る堀会員

小学校近辺が現在「麓」  
集落になっています。  
令和5年5月に遺産地区  
の空き家を古民家風に改  
修し、交流人口増加と  
地域の活性化を目的に、  
「喜入旧麓交流館「陽だ  
まり」と命名しました。  
令和6年4月には、N  
PO法人「陽だまり会」  
を設立し、目的達成のた  
め日本遺産の案内、交流  
館「陽だまり」での飲食  
販売や年3回の行事を計  
画実施しています。  
会の運営や年3回の行  
事（3大行事）を行う運  
営委員7名のうち喜入支  
部の会員3名が委員とし  
て参加しています。春田  
は「3大行事」には約500  
人前後のお客様が来場し  
ます。喜入の3大行事と  
して定着しつつあり、お  
お助け隊隊員は地域の人  
たちから絶大な信頼を得  
ています。



慰霊祭の参加者（新田神社）

会員投稿  
軽巡洋艦「川内」  
慰霊祭の参行  
薩摩川内支部  
小田 健治氏

11月2日、薩摩川内  
市新田神社において軽巡洋  
艦「川内」の慰霊祭が斎  
行されました。この慰霊  
祭は平成中頃まで旧海軍  
関係者の会である「かも  
め会」主催により開催さ  
れていたものを、今年、  
戦後80年、「川内」竣  
工100年の節目に当た  
ることから軽巡洋艦「川  
内」を慰霊する会が発足  
しました。

し、今年1回限りで行つ  
たものです。  
川内川から艦名をとつて  
おり、戦前、戦中を通じ  
艦内神社の分霊元であつ  
た新田神社をはじめ川内  
地域とは深い関係を持ち  
ました。ミッドウェー海  
戦、ガダルカナル撤退戦  
など多くの海戦に参加し  
ましたが、昭和18年1  
月2日、ブルーゲンビル  
島沖海戦において、多く  
の帝国海軍軍人とともに  
に南の海に没しました。  
当日は自衛隊関係者と  
ては県隊友会の兒玉会長  
小楠薩摩川内支部長、長  
倉県水交会副会長等がご  
遺族、薩摩川内市民など  
約30名と一緒に参列し  
ました。  
慰霊祭は神社の祖霊社  
においてお厳かな雰囲気  
の中で行われました。慰  
霊祭では、鉛筆画家の菅  
菅野泰紀画伯から鉛筆画

「川内」の  
奉納、声楽  
家の兒玉貴  
範氏による  
海ゆかばの  
奉唱が行わ  
れられました。  
ご遺族  
鹿子木さま  
から丁寧な  
お礼もあり  
意義深い慰  
霊式となり  
ました。  
「川内」  
は薩摩川内  
市にとつて  
歴史の一つ  
であり、忘  
れられるこ  
となく慰霊  
が続けられ  
ることを願  
わすにはい  
られません。

支部活動報告  
グラウンドゴルフ  
大会の開催  
瀬戸内支部長  
碩 悟氏

瀬戸内支部は12月7  
日（日）瀬戸内町防衛関  
係団体と会員の交流を目  
的に支部主催のグラウン  
ドゴルフ大会と懇親会を  
開催しました。今回は、  
弾薬庫工事を行っている



グラウンドゴルフ大会参加者

い、当日の総量2800  
キロのゴミ収集に寄与し  
ました。  
また、県隊友会の各種  
行事の参加については、  
11月に実施される県隊  
友会グラウンドゴルフ大  
会での上位入賞を目標に  
し、当日は前支部長以下  
の精鋭チームが参加しま  
した。約1年間の月一回  
の練習成果を遺憾なく発  
輝し見事団体の部優勝、  
個人の部3位6位を獲得  
することができました。  
連覇を目指し引き続き精  
進する予定です。  
これからも、2月に実  
施される鹿児島神宮紀元  
祭への参加などを通じ、  
国民と自衛隊の懸け橋と  
しての隊友会活動に取り  
組んでまいります。

五洋建設関係者も参加し  
ていただきました。  
グラウンドゴルフ大会  
は清水公園の町公営グラ  
ウンドゴルフ場で約50  
名の参加者をもつて行い  
ました。参加者は師走と  
思えない温かい天気の中  
終始、和気あいあいとプ  
レーしていました。優勝  
は隊友会特別会員の元井  
直志さんでした。  
グラウンドゴルフ大会  
終了後、場所を海の駅レ  
ストランに移して、懇親  
会を行いました。グラウ  
ンドゴルフ参加者のうち  
36名が参加しました。  
参加者はグラウンドゴル  
フ大会の珍プレーについ  
て花を咲かせながらお互  
いの話に耳を傾け楽しく  
会話を弾ませていました。  
懇親会は来年の開催を確

遺言・相続 交通事故 企業法務 借金  
★他、不動産取引、民事・家事一般、刑事  
5分間 無料電話 Q&A  
法律相談 30分あたり 5,000円（税別）予約制  
交通事故相談は初回無料（物損のみは除く）  
なかま法律事務所  
加治屋町電停・バス停より徒歩4分  
鹿児島市加治屋町 15-20  
☎099-216-8788  
■営業時間/9:00~18:00 ■休業日/土・日・祝日  
HP 検索 なかま法律事務所 鹿児島

新年明けまして おめでとう御座います  
本年も宜しくお願い致します  
鹿児島偕行会  
会長 宮口 修一  
元幹部自衛官と旧陸軍特校の会  
幹部自衛官OBの皆様、長年に亘り我国防衛  
の第一線でのご活躍、大変お疲れ様でした。  
鹿児島偕行会は、皆様の人会をお待ちしています。  
(連絡先) 鹿児島偕行会事務局  
〒892-0815 鹿児島市島居町10-12村田ビル1階 鹿児島県隊友会事務所内  
TEL: 099-295-6724 FAX: 099-295-6723  
(連絡先) 事務局 宮口 原 弘  
携帯 090-7473-5923、Eメール hiro-m@po.mct.ne.jp  
英霊に敬意を。日本に誇りを。





田盛 瑛礼 空士長

わたしは今年の5月から6月中旬にかけて、部隊の銃剣道訓練に参加しました。

銃剣道とは、旧日本軍で行われていた銃剣術を競技化した武道で、銃剣の理法の修練による人間形成を目的とする道または修行のことです。銃剣道の本旨の中に銃剣道は武道の美風である「誠

**銃剣道**  
奄美通信隊  
空士長 田盛瑛礼

実「礼節」「勇気」「質実剛健」及び「克己心」等を徳目として練磨し、社会に有為な人間の育成を目的とするものがあります。

わたしは、自衛隊に入隊するまで見たことも聞いたこともない競技でした。

銃剣道訓練で最初に感じたことは、日常生活での動きと異なる動きをするのはとても難しいということです。構えでは毎回足や剣先の位置が変わり、足さばきではすり足が上手くできずに跳ねてしまうなど、無駄の多い動きになってしまいうことが多く、中々上達することができませんでした。

しかし、訓練の終わる6月に入ってから、は「突く」「抜く」「払

**甌マラソンに 参加して**  
下甌島分遣隊 亀井千尋

甌マラソンの前身は、「甌明神マラソン」とい上甌運動公園から「甌大明神橋」と一鹿の子大橋を往復する10キロマラソンでしたが、上甌島と下甌島を結ぶ県道が甌大橋完成により全線開通することとなり、これを記念して『島民一丸を取り組み、「健康地域づくり」、「地域間交流」「観光振興」等を図り、地域の自然と資源を活用した地域活性化』の推進を目的に、2020年甌大橋を往復するハーフマラソンを加えて第1回大会の開催へと至りました。2025年行われた第4回大会へは、飯田副隊長以下9名の有志隊員が参加し、上甌運動公園を出発した後、甌大明神橋、鹿の子大橋、甌大橋と壮大な景色を眺めながら折り返し、それぞれが満足のいく結果を出し、清々しい表情で走り終えることができました。

次回大会には、陸海空それぞれ有志が参加しより盛会となることを祈年して、紹介とさせていただきます。



甌マラソンを完走!! 亀井3空尉

わたしは、学生時代からレスリング競技を実施しており、オリンピックを目標とし、自衛隊体育学校に入校するため昭和63年3月、第113教育大隊に入隊しました。

自衛隊体育学校時代は特別体育学生として国際大会等に出場し、そこで培った体力・気力・忍耐力・精神力・チャレンジ精神

**定年退職を控えて**  
第8施設大隊  
准陸尉 外屋敷 剛



外屋敷 剛 准陸尉

わたしは、学生時代からレスリング競技を実施しており、オリンピックを目標とし、自衛隊体育学校に入校するため昭和63年3月、第113教育大隊に入隊しました。

自衛隊体育学校時代は特別体育学生として国際大会等に出場し、そこで培った体力・気力・忍耐力・精神力・チャレンジ精神

**隊員紹介**  
鹿児島地方協力本部  
2等陸曹 濱崎 孝生

鹿児島県隊友会の皆様初めまして、自衛隊鹿児島地方協力本部予備自衛官班長の小湊事務官と申します。予備自衛官班は班

う「かわす」「押す」などの基本動作に加え、苦手であった足さばきも自身で上達していることを感じました。

わたしの訓練は、6月に終わりましたが、わたしの先輩は上級部隊の選抜選手として、今も航空自衛隊武道大会に向けて毎日練習に邁進しています。わたしも次はもっともつと練習し、上位の大会を目指して精進していきたいと思っています。

神を身につけることができました。

競技生活を終え郷里である第8施設大隊へ異動し、最後の職務として准曹士の長となる最先任上級曹長を約5年勤めました。勤務間、隊務全般に関する大隊長の補佐・准曹士の職務に係る職務指導・准曹士の基礎動作、娯楽及び規律に係る指導の徹底並びに実行の監督等を実施し、その経験により最先任上級曹長の6大資質（責任感、判断力、企画力、実行力、指導力、感化力）が付きましました。

わたしも今年の12月に定年を迎える予定であり、第8施設大隊最先任上級曹長として最後まで勤務できたことに感謝するとともに、残り僅かな期間となりませんが、部隊の伝統を継承し、准曹士



濱崎 孝生 2等陸曹

鹿児島地方協力本部の即応予備自衛官業務及び予備自衛官補業務の担当として勤務に邁進しています。

濱崎2曹の趣味はサーフィンとDIYとのことであり（サーフィンについては転勤を理由に一時中断中）、今は専らDIYを中心に余暇を満喫しているとのこと。机、ベッド等の作成、バイク、ヘルメットの塗装、更には車のオーディオを自作するなど日々技能の向上に努めております。

勤務については、異動後、慣れない地本の業務に戸惑うこともありましたが、現在は班の主力として特に即応予備自衛官の志願勧誘に日々頑張っており、今後が期待される隊員です。行事等で見かけたら、気軽にお声掛け

の最上位者として、最後まで気を抜くことなく全力で施設大隊の精強化に努め、「日本一の施設大隊」を目標に最後まで頑張りたいと思っています。

Web会議は、現行までの集まって行う会議に比べ移動の時間が節用でき、経費の節減も図れることから、有用と思われる今回の反省点を修正しつつ効果的な実施を追求していければと思っています。

**県隊友会Web会議に取り組み**  
隊友さつま編集委員  
永田 真一 氏

県隊友会では第2回理事役会議をWeb会議で実施しました。実施するのは前回の理事役会議に続き今回も後藤事務局次長が中心となつて、ラインの構成、ズームの準備を行った後、3回の予行を実施。この準備が大変で苦労したことでした。

会議は、発表役の会長・副会長等が県事務所



Web会議の様子（県隊友会事務所）

位置し、理事役等がリモートで参加しました。

会議はいくつかの齟齬はあったものの前回に比べ順調に終了することができました。

Web会議は、現行までの集まって行う会議に比べ移動の時間が節用でき、経費の節減も図れることから、有用と思われる今回の反省点を修正しつつ効果的な実施を追求していければと思っています。



見事な塗装が施されたバイク

鹿児島地方協力本部  
予備自衛官班長 小湊克裕記

**秋の叙勲**  
宮内省  
皇太子御成婚  
勲章  
山登松中☆  
崎 原川瑞宝  
龍郁繁単  
優稔男幸光章  
殿殿殿殿  
山福里池☆  
下丸 江瑞宝  
隆竜美副双  
広子徳俊光章  
殿殿殿殿  
上☆  
木瑞宝  
康双  
照光章  
殿  
宮内省  
皇太子御成婚  
勲章  
殿殿殿殿

**晴れの受章**  
おめでとうございます

**「川内駐屯地行事のお知らせ」**  
1 川内駐屯地記念行事記念講話  
(1) 日時 R8.2.21(日) 13:30~14:30  
(2) 場所 SSプラザさんだい  
(3) 講師 元統合幕僚長 山崎幸二氏  
(第22代 第8施設大隊長)  
2 市民と自衛隊員との集い  
(1) 日時 R8.2.21(土)14:45~17:00  
(2) 場所 SSプラザさんだい  
3 問合せ先 川内駐屯地広報班

**「奄美駐屯地・瀬戸内分屯地開設記念行事のお知らせ」**  
1 日時 R8.4.26(日)  
2 場所 奄美駐屯地  
3 内容 観開式、訓練展示  
体験搭乗、  
装備品展示  
4 問合せ先  
奄美警備隊 渉外・広報室  
0997-54-1060(内線251)

**お口から食べるを生涯サポートいたします！**  
一般・小児・訪問歯科診療

※ 通院できない方には、訪問診療、食べる吞み込めない方の摂食、嚥下診療、リハビリもフォローいたします。

(月)~(金) 9:00~12:30 14:00~18:30  
(土) 9:00~13:00 ※ (火)、(木)、(土) 午後は訪問診療  
休診日 (日)、(祭)、第2(木)、第4(木)  
※ 騎射場交差点 角

**千堂歯科医院**  
〒890-0056 鹿児島市下荒田3-39-13 山内ビル  
TEL 099-250-1232  
FAX 099-250-1232

**70歳までの元気な方募集**

業務内容：①警備 ②車両運行管理 ③離島で働きたい方  
細部は、ご連絡ください。（担当：村田）

**株式会社 セノン南九州支社**

住 所 鹿児島市中央町9-1 第一生命ビル5階

電話番号 099(251)4271  
FAX 番号 099(258)1047